

経済倶楽部便り

◆東京◆ 2021年の年が明けましたが、コ

ロナ禍は依然終息の気配を見せず、年初からホールでの座席数の削減を継続せざるを得ません。ただ、昨年5月から始めたオンラインによる動画配信は定着してきました。ところで、今年

1931年6月10日に設立された経済倶楽部の90周年目にあたります。講師の警咳に触れる講演会にリモートによる自宅その他での視聴という新しい形が加わりました。切っ掛けはコロナ禍ではありますが、時代の要請でもあり、避けられない変化だろうと思います。今年もその時々重要なテーマをホールとオンラインで伝えら

れるよう努力してゆく所存です。

2月の講師は一橋大学名誉教授の野口悠紀雄氏、慶應義塾大学総合政策学部教授の中室牧子氏、筑波大学大学院教授の山田実氏、コリアレポート編集長の辺真一氏を予定しています。

◆中部◆ 12月の講師にはピクテ投信投資顧問の市川眞一氏をお呼びしました。同氏によると、「バイデンはオバマ時代に副大統領として再選の仕方を学習。22年秋には中間選挙があるが、与党敗北が定着。それを覚悟で最初の2年で公約実現させる政策を行い、23年から経済のアクセルを踏み込むだろう」と話されました。

2月の講師は現代中国研究家の津上俊哉氏、笹川平和財団上席研究員の渡部恒雄氏を予定しています。

(日暮良一)